

(9) 障がいのある人に対する差別や虐待などについて

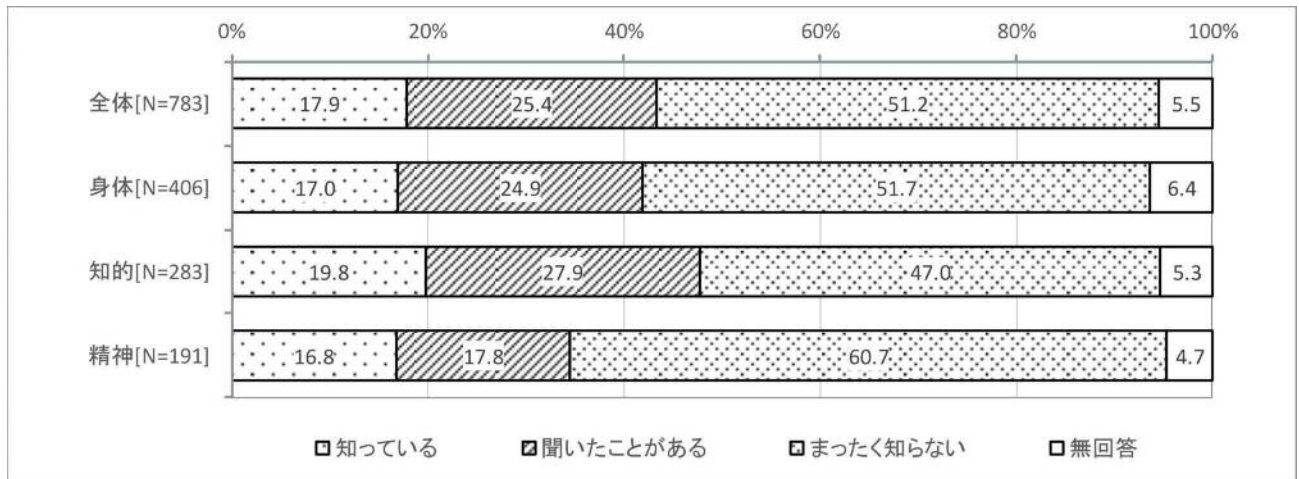
① 「障害者差別解消法」※の認知

「障害者差別解消法」の認知については、「まったく知らない」が51.2%、「聞いたことがある」が25.4%、「知っている」が17.9%となっています。

精神障がいのある人は「まったく知らない」の割合がやや高くなっています。

※役所や事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく障がいを理由として差別することを禁止し、必要な配慮を求められた場合、できる限り配慮することを定めた法律です。

図表 87 「障害者差別解消法」の認知[N=783]



前回調査と比較すると、知的障がいのある人と精神障がいのある人の「知っている」の割合が高くなっており、身体障がいのある人では「知っている」の割合は同じですが、「聞いたことがある」の割合がやや高くなっています。

図表 88 「障害者差別解消法」の認知（前回調査との比較）

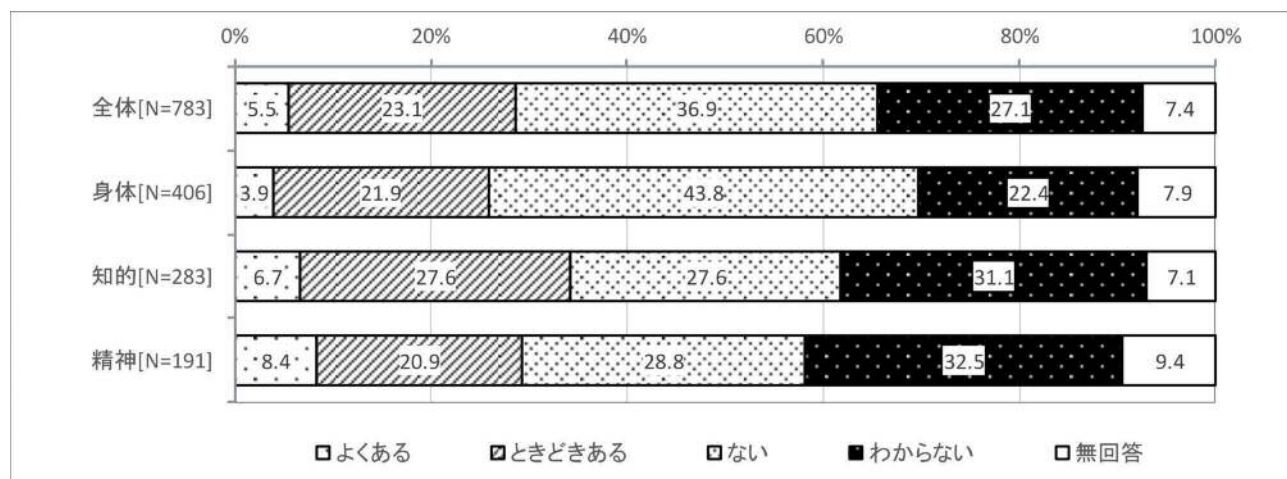
	身体		知的		精神	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
N=	429	406	266	283	159	191
知っている	17.0	17.0	18.0	19.8	11.9	16.8
聞いたことがある	22.6	24.9	28.9	27.9	19.5	17.8
まったく知らない	57.1	51.7	47.4	47.0	62.9	60.7
無回答	3.3	6.4	5.6	5.3	5.7	4.7

② 障がいがあることで差別・偏見を受けた経験

障がいがあることで差別・偏見を受けた経験があるかどうかを聞いたところ、「よくある」(5.5%)、「ときどきある」(23.1%)を合わせると、約3割の人が差別・偏見を受けた経験があると回答しています。

知的障がいのある人は、差別・偏見を受けた経験がある割合がやや高くなっています。

図表 89 障がいがあることで差別・偏見を受けた経験[N=783]



前回調査と比較すると、すべての障がい種別において、差別・偏見を受けた経験がないと回答した割合が高くなっています。

図表 90 障がいがあることで差別・偏見を受けた経験（前回調査との比較）

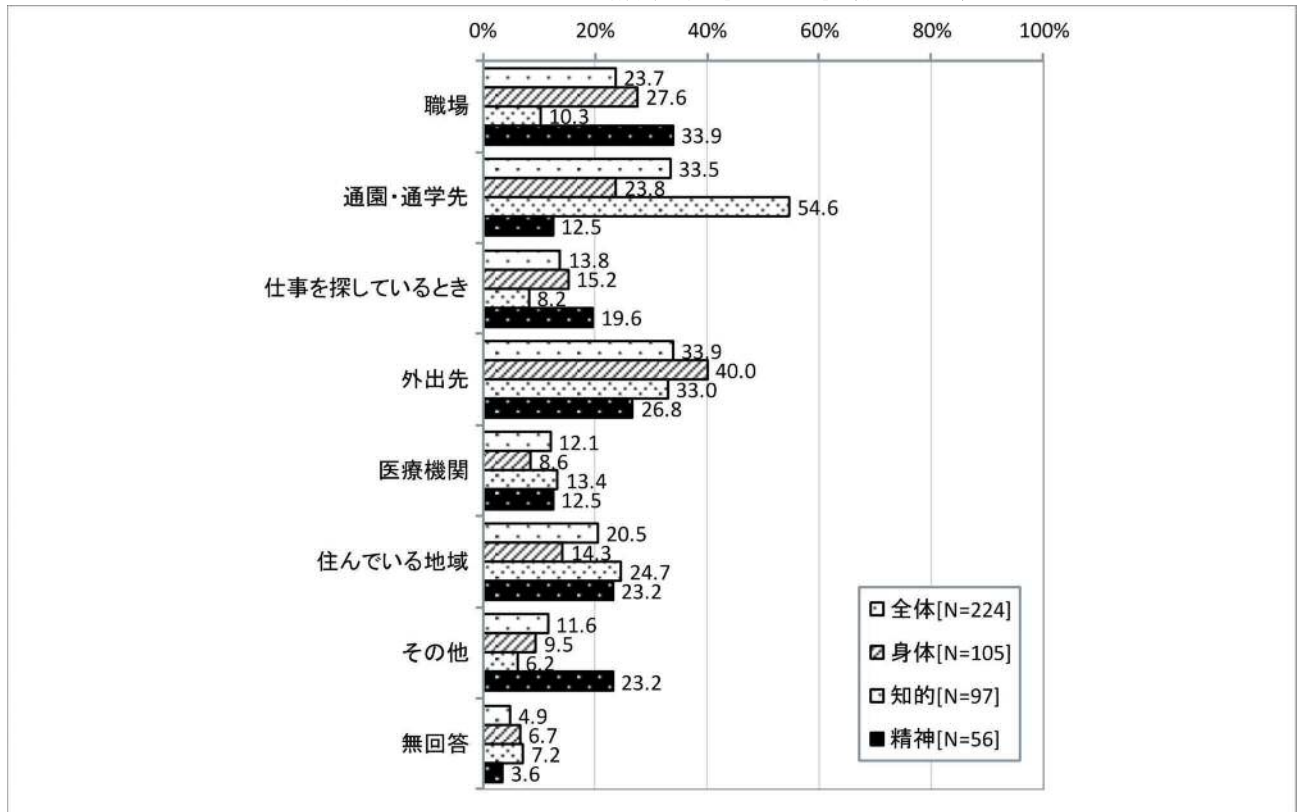
	身体		知的		精神	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
N=	429	406	266	283	159	191
よくある	8.6	3.9	12.0	6.7	11.3	8.4
ときどきある	20.0	21.9	33.1	27.6	22.6	20.9
ない	42.7	43.8	16.9	27.6	27.7	28.8
わからない	23.5	22.4	33.1	31.1	32.7	32.5
無回答	5.1	7.9	4.9	7.1	5.7	9.4

③ 差別を受けた場所や場面

差別・偏見を受けた経験が「よくある」「ときどきある」と回答した人に、差別を受けた場所や場面を聞いたところ、「外出先」が33.9%、「通園・通学先」が33.5%、「職場」が23.7%となっています。

知的障がいのある人は「通園・通学先」、精神障がいのある人は「職場」の割合が高くなっています。

図表 91 差別を受けた場所や場面[N=224]（複数回答）



前回調査と比較すると、「職場」の割合がやや高くなっています。一方で、身体障がいのある人は「外出先」「医療機関」が、知的障がいのある人は「外出先」が、精神障がいのある人では「通園・通学先」「医療機関」の割合が低くなっています。

図表 92 差別を受けた場所や場面（複数回答）（前回調査との比較）

	身体		知的		精神	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
N=	123	105	120	97	54	56
職場	27.6	27.6	6.7	10.3	29.6	33.9
通園・通学先	21.1	23.8	50.8	54.6	20.4	12.5
仕事を探しているとき	10.6	15.2	5.8	8.2	24.1	19.6
外出先	47.2	40.0	45.8	33.0	29.6	26.8
医療機関	13.8	8.6	14.2	13.4	18.5	12.5
住んでいる地域	18.7	14.3	27.5	24.7	25.9	23.2
その他	13.0	9.5	5.8	6.2	20.4	23.2
無回答	3.3	6.7	1.7	7.2	3.7	3.6

④ 差別の内容

184 件*の意見があり、内容としては障がいに対する理解不足が最も多く、次いで暴力や言葉の暴力、いじめが多くなっています。

特に、じろじろ見られる、仲間外れ・無視される、からかわれる・笑われる、白い目で見られる、障がいに対する無神経な言葉などへの意見が多くなっています。

(下線の箇所は意見が3名以上から挙がったもの)

※1つの回答に複数の意見が含まれている場合は、それぞれ1件とカウントしており、上記件数は意見の総数を示します。次の⑤も同様です。

図表 93 差別の内容

差別の内容		件数
いじめ	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>からかわれる, 笑われる</u> ・<u>仲間外れ, 無視される</u> ・「きもち悪い, うつる」「触らないで, 嫌」と言われた ・<u>いやがらせを受けた</u> ・自分を叩くように強要された ・教科書を隠されたりサイフを盗まれたりした ・タバコやジュースを買わされた など 	34
拒否	<ul style="list-style-type: none"> ・アトラクションで乗車拒否された ・一般の幼稚園に入れなかった ・同じクラスにならないよう学校に苦情があった ・飲食店で少し大きな声を出したら退店させられた (入店直後ですぐに治まることが多いのだが, そういう余裕を与えてもらえなかった) ・知的も身体も重度なので, 施設で受け入れてもらえない など 	10
理解不足	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>奇異な目, 白い目, 変な目で見られる</u> ・<u>障がいに対する安易な理解からの対応</u> ・避けて通られていると感じる ・障がいを理由に資格が取れなかった ・親が子どもにつきあわないように言う ・親の育て方が悪い, 愛情が足りないと言われる ・<u>障がいを理由に雇用されない, 給料や手当で差がある, 人事評価を下げられた</u> ・仕事を辞めさせられた ・配慮という名目で一人前扱いしてくれない ・障がい者枠の採用が特定の障がい者の種別に偏っている など 	52
暴力・ 言葉の暴力	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>障がいに対する無神経な言葉</u> ・通園・通学先でからかわれたり, 悪口を言われたり, 暴力を受けた ・職場で, 大声で怒鳴られたり, 邪魔, 辞めろなどと言われた ・散歩中に身体の特徴を笑われた ・障がいがあるとは思えない, 手帳で割引がありいいねなど, 嫌みを言われた ・障がいがあることで生きている価値がないなどと言われる ・あの人は障がいだから・・・などと言われる ・足をひっかけられたり, 蹴られたりした など 	50
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関での対応 ・行政での対応 ・親に対する非難 ・手帳を見せたら態度が変わる ・クラブや大学を辞めるよう勧められた など 	38

⑤ 障がいのある人に対してあればよい配慮や心遣い

269 件の意見があり、個々の障がいに対する正しい理解を求める意見が最も多く、次いで普通に接してほしいという意見が多くなっています。

図表 94 障がいのある人に対してあればよい配慮や心遣い

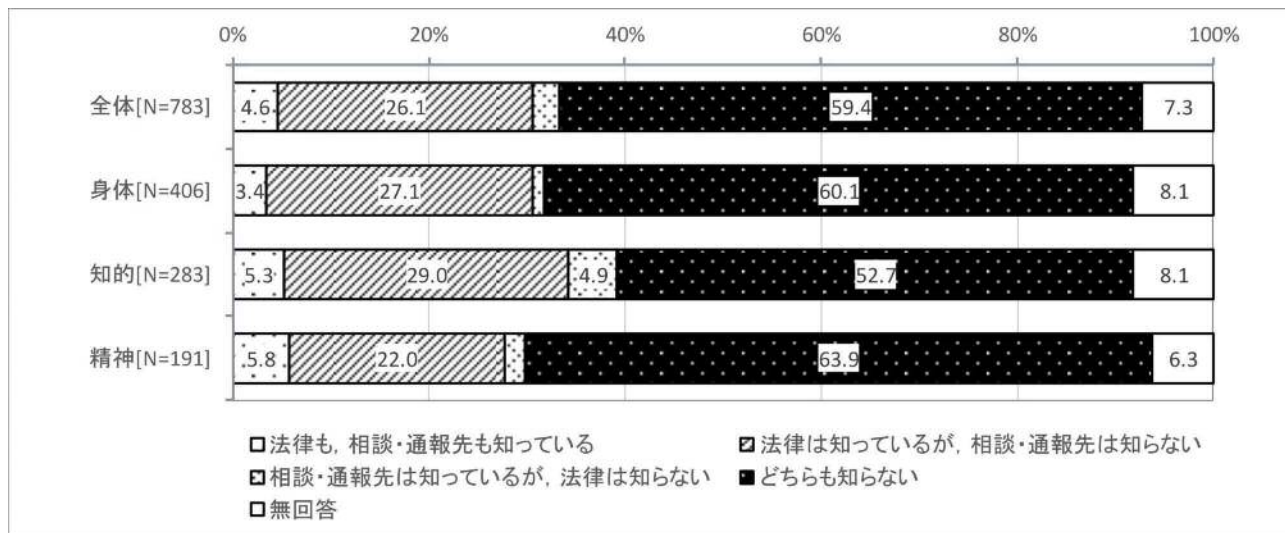
意見	件数
・個々の障がいに対する正しい理解	73
・普通に接してほしい、同じ人として接してほしい	21
・優しくしてほしい	17
・エレベーター・エスカレーターの設置、バリアフリー、道路の整備	17
・交通費の助成、経済的援助	13
・サポート、福祉サービス、支援の充実	12
・温かい目で見守ってほしい、温かく見守ってほしい	11
・教育・学校現場、医療現場での配慮	9
・ヘルプマークのような、外部から見てもわかるタグがあればよい	8
・相談員の配置、相談窓口の設置	7
・周囲に障がいのある人に対する配慮や心遣いを求めるのは無理、期待していない	7
・電車やバスなどで座席を譲ってほしい	6
・障がい者用トイレの設置	5
<ul style="list-style-type: none"> ・職場でジョブコーチの方を増やしてほしい ・時差出勤、テレワークの実施 ・地域の人や郵便局員に偏見をもたれないよう、アンケートや郵便物に「障がい」と明記しないでほしい ・充実した施設づくり ・災害時の誘導や福祉避難所の開設、通常の避難所での配慮 ・障がい者用駐車場を増やしてほしい ・助けを求めた時に助けてもらうことができると、とてもうれしい ・気軽にどんなことに気遣ってほしいかと聞いてもらえたらうれしいと思う ・確定申告をする時に障がい者専用ブースがあれば大変助かると思う ・身障者用の駐輪場を作ってほしい（フラットタイプ、レールがないタイプ） ・障がいに関する書類の簡略化をしてほしい ・手話ができる人が少ない、手話通訳の派遣 ・言葉だけの励ましでもうれしい <p style="text-align: right;">など</p>	63

⑥ 「障害者虐待防止法」※の認知

「障害者虐待防止法」の認知については、「どちらも知らない」が59.4%、「法律は知っているが、相談・通報先は知らない」が26.1%、「法律も、相談・通報先も知っている」が4.6%となっています。

※障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律

図表 95 「障害者虐待防止法」の認知[N=783]



前回調査との比較では、精神障がいのある人では「法律も、相談・通報先も知っている」「法律は知っているが、相談・通報先は知らない」の割合がいずれもやや高くなっています。

図表 96 「障害者虐待防止法」の認知（前回調査との比較）

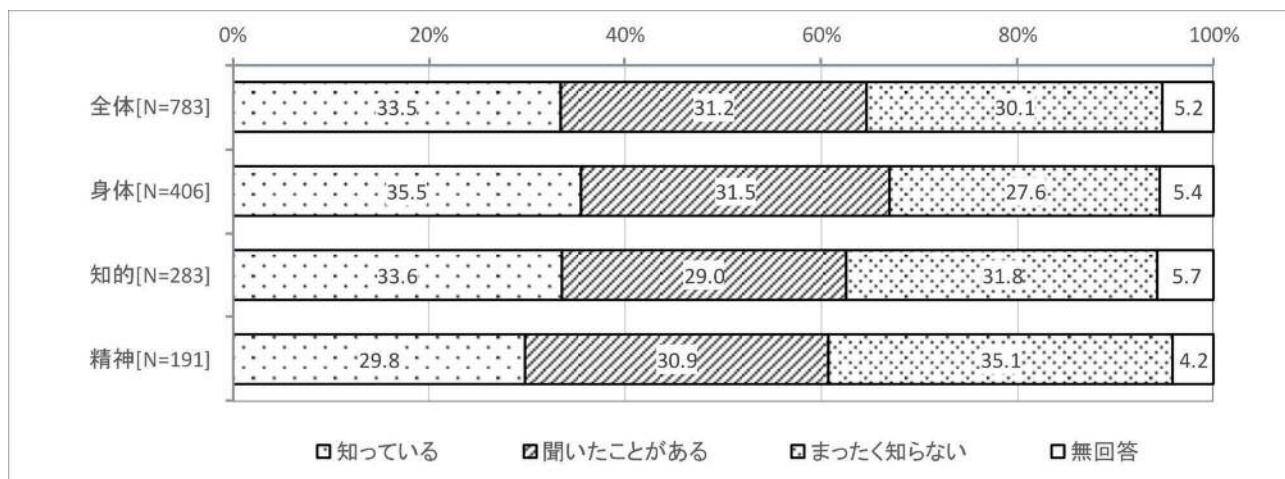
	身体		知的		精神	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
N=	429	406	266	283	159	191
法律も、相談・通報先も知っている	8.2	3.4	7.5	5.3	3.8	5.8
法律は知っているが、相談・通報先は知らない	26.1	27.1	27.4	29.0	20.1	22.0
相談・通報先は知っているが、法律は知らない	2.8	1.2	4.1	4.9	3.1	2.1
どちらも知らない	57.6	60.1	54.1	52.7	66.0	63.9
無回答	5.4	8.1	6.8	8.1	6.9	6.3

⑦ 「成年後見制度」※の認知

「成年後見制度」の認知については、「知っている」が33.5%、「聞いたことがある」が31.2%、「まったく知らない」が30.1%となっています。

※病気や障がいによって判断能力が不十分な人が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立ててその人を援助してくれる人を選任してもらう制度

図表 97 「成年後見制度」の認知[N=783]



前回調査と比較すると、身体障がいのある人で「知っている」の割合がやや低くなっています。「聞いたことがある」の割合はすべての障がい種別でやや高くなっています。

図表 98 「成年後見制度」(前回調査との比較)

	身体		知的		精神	
	平成 28年度	令和 元年度	平成 28年度	令和 元年度	平成 28年度	令和 元年度
N=	429	406	266	283	159	191
知っている	42.4	35.5	34.6	33.6	30.8	29.8
聞いたことがある	26.1	31.5	27.4	29.0	27.0	30.9
まったく知らない	27.3	27.6	33.5	31.8	36.5	35.1
無回答	4.2	5.4	4.5	5.7	5.7	4.2